

6月1日(土) 12:00- 受付開始 (15号館2階エントランス)

13:25-13:30 主催校挨拶
13:30-16:00 シンポジウム「映像芸術の表現と理論」(15201教室) 13:30-14:30 問題提起 / 14:40-16:00 ディスカッション+質疑応答

A 15202 教室 研究発表 **B** 15203 教室 研究発表 **C** 15204 教室 研究発表 **D** 15102 教室 研究発表 **E** 15101 教室 研究発表 **F** 学生円形ギャラリー 研究発表
作品発表

A1 座長：伊藤 高志 **B1** 座長：趙 瑞 **C1** 座長：井上 貢一 **D1** 座長：奥野 邦利 **E1** 座長：伊原 久裕 **F1** 座長：佐藤 慈

16:20-16:50 **A1-1. 堅田 諒** ジーナ・ローランズのジョン・カサヴェテス作品における演技スタイルについて **B1-1. 芦谷 耕平** 映画『THE FIRST SLAM DUNK』におけるアニメーション映像の革新性についての一考察～作画監督の視点から～ **C1-1. 吳 瑩煒** 相米慎二『翔んだカップル』『セーラー服と機関銃』にみる母の不在とアイドルイメージの関係について **D1-1. 石毛 みさこ** 現代人が求める主人公像について—連続テレビ小説『らんまん』を中心に **E1-1. 橋本 典久** 古川タク氏が1975年に発表した"装置"驚き盤の詳細 **F1-1** 16:20-16:50

17:00-17:30 **A1-2. 川崎 佳哉** カメラの前後に立つ監督たち：エッセイ映画と自作自演のフィクション映画 **B1-2. Werner Steffan** 日本のスーパー戦隊シリーズのヴィラン組織の変化とその影響 **C1-2. 龔 主** 『THE 有頂天ホテル』——グランド・ホテル形式を超えた笑い **D1-2. 原田 健一** 日常生活にある映像によって、地域と文化の地下水脈を読み解く **E1-2. 常石 史子** 無声映画の色彩—その保存と再現 **F1-2. 鄭 知硯** 「喪の映画 (mourning film)」としての震災ドキュメンタリー——小森はるかとの映像実践における重層する声、震災後空間と「私」—— 17:00-17:30

17:50-20:00 懇親会 (九州産業大学アルテリア [学生食堂])

6月2日(日) 9:15- 受付開始 (15号館2階エントランス)

A2 座長：鳥山 正晴 **B2** 座長：岩田 敦之 **C2** 座長：齋藤 正和 **D2** 座長：古賀 太 **E2** 座長：伊原 久裕 **F2** 座長：大橋 勝

10:00-10:30 **A2-1. 王 宏斌** 「中国南方ニューウェーブ」に関する一考察：『凱里ブルース』における夢の描写を例に **B2-1. 伊集院 敬行** ペドロ・アルモドバルの『欲望の法則』と『マタドール』に見られる生と死の欲動について **C2-1. 水野 勝仁** ヨフ『Layered Depths』とともに考える「スワイプを介して生じる映像と空間の関係」 **D2-1. DOMENIG Roland** 18世紀に流行した降霊会における幻燈の使用に関する考察—ゲオルグ・ヨハン・シュレプファーを中心に— **E2-1. 入倉 友紀** SPレコードから考える日本の映画業界と音声メディア **F2-1. 太田 曜** 16mm フィルム映画 OPTICAL SOUND FILM <<作品発表>> 10:00-10:30

10:40-11:10 **A2-2. 龐 鴻** 1950年代中国記録映画製作手法確立期における中ソ合作映画に関する再考察 **B2-2. 久保 豊** 同性愛的欲望のレシビの継承／切断——2010年代以降の日本のゲイ映画における食表象 **C2-2. Molnár Levente** ヤンチャウ・ミクローシュの1970年代ハンガリー製作作品における空間表象について **D2-2. 安田 和弘** 秘術から技術へ—明治期における撮す・撮される経験の変容 **E2-2. 大久保 清朗** 『浮雲』のスコア成立をたどる(「虚空からの音楽」補遺)—斎藤一郎の『浮雲』台本付属音楽メモを中心に **F2-2. 蔣 雯** 詩的身体にアプローチする演技法に巡る映像作品『二人の箱』<<作品発表>> 10:40-11:10

11:20-11:50 **A2-3. 赤井 敏夫** 中国におけるインド映画市場とその政治性 **B2-3. 國永 孟** 「ヴァルネラブル」な男性の身振り—1950年代ハリウッドにおけるジェイムズ・メイソン再考— **C2-3. 梅本 健司** 『望まれざる者』(アイダ・ルピノ、1949年)における揺れ動く焦点化について **D2-3** **E2-3. 細馬 宏通 / 海老原 颯** 歌声をオン/オフ化するサスペンスとしての「空耳アワー」 **F2-3. 水由 章** BY BRAKHAGE をめぐって～Jane Brakhage の1957年から1987年 11:20-11:50

11:50-13:10 昼休み
13:10-14:40 第51回通常総会 (15201教室) 12:00-13:00 * 新旧合同理事会 (15号館4階芸術学部大会議室 / 中会議室)

A3 座長：趙 瑞 **B3** 座長：西谷 郁 **C3** 座長：志村 三代子 **D3** 座長：佐藤 慈 **E3** 座長：井上 貢一 **F3** 座長：伊藤 高志

14:50-15:20 **A3-1. Fabien Carpentras** 「隠蔽記憶 (screen-memory)」としての『福田村事件』(森達也、2023年)—朝鮮人の虐殺はどう観られたか? **B3-1. 北岡 勇一** ホン・サンスの「語り」を中心とした特徴について **C3-1. 丁 智恵** テレビドラマ草創期の異種混交性 (hybridity): 独立プロ・新劇・テレビ映画からの視点 **D3-1. 栗原 康行** 先駆的 NFT アートの研究 / 動画作品や既存芸術のデジタル化と Block chain **E3-1. 萩原 健一** 初等中等教育における映像メディア教育のための実空間映像編集『うご板』 **F3-1. 猪鼻 秀一** 小西徹郎 PV 「NANSO」<<作品発表>> 14:50-15:20

15:30-16:00 **A3-2. 韓 瑩** 戦後台湾における「中国映画」の創出と越境：『天倫涙』(1960年)を中心に **B3-2. 金 秀玟** 棄てられた情動的空間の「ソウル」：『ソウルに帰る』における養子の旅 **C3-2. 北嶋 玲子** 宣伝芸術としての日本映画の予告編——東映・角川映画を事例として **D3-2. 宮下 十有** 360度カメラの静止画・動画による映像記録の利用と共有 **E3-2. 今 祐仁** 「映像」から「伝達」へ：VIC (Video Information Center) と NDU (Nihon Documentarist Union) の活動をめぐって **F3-2. 春口 巖** The Colors of Orchestra <<作品発表>> 15:30-16:00

16:10-16:40 **A3-3. 原口 直希** 台湾語流行歌《桃花泣血記》に見る特徴的要素：音響面からみる日本統治期台湾の映画文化 **B3-3. 梁 仁實** 1970年代日韓の映像における「在日」英雄と母の物語に **C3-3. 内山 翔太** 吉屋信子の小説にみる戦前日本の女性の映画文化 **D3-3. 木下 耕介** 情報文化と物語叙述——映画のデータ・ストーリーテリングについての試論・補遺 **E3-3. 新堀 太一** スウェーデンにおける子ども観客の形成にともなう映画書悪説の流行と「学校映画 (skolfilm)」の誕生について **F3-3. 高 戈** 映像作品『Engraving Time and Light』についての考察 <<作品発表>> 16:10-16:40

17:10-17:40 **A3-4. 洪 愷均** 「テレビ布袋戯 (ポテヒ)」の発展史からみた日本文化の影響と台日文化融合の現状 **B3-4** **C3-4. 胡 響楽** 勅使河原宏映画における女性たち——『砂の女』(1964)と『他人の顔』(1966)を中心に **D3-4. 二羽 恵太** 動画生成 AI "Runway Gen-2" を用いた作品『Adventure into the Abyss』 **E3-4. Greg O' Keefe** ドキュメンタリー映像制作の授業研究—ビジュアルソシオロジーの観点から **F3-4. 斎 琛** 映像インスタレーション作品『meta』についての考察 <<作品発表>> 17:10-17:40

G 12:00-18:00

発表作品上映(17号館6階601教室)

10:00-18:30

発表作品上映(17号館6階601教室)